

韓国大学生訪日団（第1～2団）招へい事業の記録

1. プログラム概要

【目的・概要】「対日理解促進交流プログラム（JENESYS2024）」の一環として、韓国全土から選抜された大学生等を招へいし、各種視察、学校訪問、テーマに沿った講義聴講等を通じて、日本に対する理解を深めることで、今後の日韓間の相互理解と信頼関係増進の基盤強化に寄与することを目的とする。

【参加者】韓国の大学生等 合計 90 名

【訪問地】訪日 東京都、広島県、奈良県、大阪府 合計 90 名、（第1団）千葉県 45 名、（第2団）埼玉県 45 名

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）：

6月1日（土曜日）オリエンテーション（プログラム説明）、参加者による対外発信

■ 招へいプログラム：

6月25日（火曜日）成田国際空港から入国、オリエンテーション

【講義】「最近の日韓関係」

6月26日（水曜日）【視察・講義】高麗神社

【視察】李秀賢氏追悼・顕彰碑含む新大久保フィールドワーク

6月27日（木曜日）【学校訪問・交流】（第1団）神田外語大学、（第2団）獨協大学

6月28日（金曜日）広島県へ移動、【講義】広島県庁「国際交流員から見た広島の魅力」

【講義】被爆体験講和

6月29日（土曜日）【視察】広島平和記念資料館、平和記念公園、韓国人原爆犠牲者慰霊碑、原爆ドーム
ホームステイ対面式

6月30日（日曜日）終日ホームステイ

7月1日（月曜日）ホームステイ解散式

【学校訪問・交流】（第1団）広島修道大学、（第2団）安田女子大学

7月2日（火曜日）【視察】御幸森天神宮、【視察】法隆寺

成果報告会（訪日成果・帰国後の活動計画発表）

7月3日（水曜日）関西国際空港から出国

2. 記録写真

	
2024 年 6 月 25 日【講義】「最近の日韓関係」	2024 年 6 月 26 日【視察・講義】高麗神社
	
2024 年 6 月 27 日【学校訪問・交流】 (第 1 団) 神田外語大学	2024 年 6 月 27 日【学校訪問・交流】 (第 2 団) 獨協大学
	
2024 年 6 月 28 日【講義】広島県庁「国際交流員 から見た広島の魅力」	2024 年 6 月 29 日【視察】 広島平和記念公園
	
2024 年 7 月 1 日【学校訪問・交流】 (第 1 団) 広島修道大学	2024 年 7 月 1 日【学校訪問・交流】 (第 2 団) 安田女子大学

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 韓国 大学生

日本の大学生との交流を通じて日本文化への理解が深まりました。授業で学ぶ内容だけではなく、日常生活で接するさまざまな文化的な差を実際に経験することができました。ホームステイでは家庭の衣食住を体験し、日本の生活様式を深く理解することができました。家のお手伝いをする中で日本式の掃除方法や食事のマナーなど日本の家庭の日常にある決まりごとや習慣を学びました。また、神楽の衣装体験や茶道体験などを通じて、伝統や文化もより身近に感じることができました。

◆ 韓国 大学生

日本の大学生と実際に会って交流をしてみたかったのですが、現実的に難しかったため、このような機会があってとてもよかったです。交流を通じて、韓国と日本の文化の共通点と相違点を知ることができ、お互いを理解するのに役立ちました。また、訪問した学校でのキャンパスツアーを通じて、韓国と日本の大学生活を比較することができ有意義な時間でした。

◆ 韓国 大学生

東京、広島など、さまざまな都市を訪問し、日本の現代的な面と伝統が共存する姿を実際に見て感ずることができました。特に各地域の遺跡を訪問した際に専門家の方から説明を受けたことによって歴史的な事柄について理解をより深めることができました。高麗神社や被爆体験講話からは平和と和解の重要性を再認識しました。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 安田女子大学関係者

日韓大学生交流イベントの開催にあたり、訪日団一行と同数の学生募集を行いました。早い段階で定員を満たし、関心度の高さを伺うことができました。グループディスカッションでは、それぞれの国の現状や課題への取組みについて活発な意見交換があり、国による考え方や立場の違いを受け入れながら、協同してプレゼンテーションを行う姿勢が見られました。また、書道体験やものづくりセンターの見学を通して本学の学びの一部を紹介できたことで、日韓友好の絆が深まったことを実感できる充実した一日となりました。

◆ 学校訪問先学生

日本語が話せる人も話せない人もいましたが、私の拙い韓国語でも意味を汲み取ってくれて、楽しく意見交換ができました。同年代との交流は趣味が合う人も多く、共感もでき、とても楽しめました。1番盛り上がったのはアニメの話題です。同じ日本のアニメが好きな学生がいたので、その話がたくさんできたことが嬉しかったです。アニメから日本語を覚えているということも聞き、日本のアニメ文化はやはり人気が高いと実感しました。

◆ 学校訪問先学生

私たちは討論の時間に「格差」の中でも特に「教育と経済」に焦点を当て、韓国と日本が抱える現状と違いについて話し合いました。韓国人の学生は、常に考えを持ち発言する機会が多い印象でした。また、日本に対する関心が高く、幅広い質問をしてくれたので話が弾んで親しくなれました。このような機会

があれば、また参加したいです。

◆ 北広島町農山村体験推進協議会

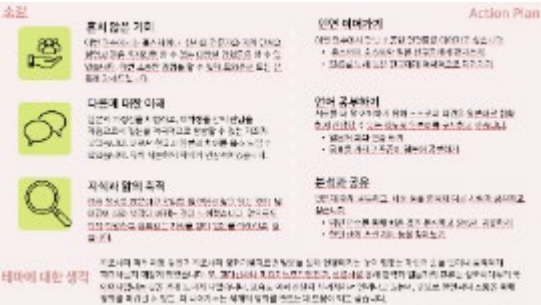
北広島町を含む西日本の中国地方は古代から中世にかけて、たたら製鉄が盛んで、文化的には大陸の影響を受けていた地域になります。また、昔からの古いものも残っており、神社仏閣などの建造物も見ることができたのではないのでしょうか。短い期間でしたが、日本の生活に触れ、自国との環境の違いも知ることができたのではないかと思います。今回のホームステイが日本文化理解の一環となり、将来の日韓友好の発展に活かされることを願っています。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

 2024年6月26日、北広島町農山村体験推進協議会主催の「高麗神社と高句麗」に関する講演会が開催されました。講演者は、高麗神社の歴史と高句麗の文化について詳しく説明しました。参加者は、高麗神社の歴史と高句麗の文化について詳しく説明しました。参加者は、高麗神社の歴史と高句麗の文化について詳しく説明しました。	 2024年6月26日、高麗神社を訪れました。高麗神社は、高句麗使節団の一員である若光が高句麗の滅亡により帰るところがなくなってしまったため、高句麗人と一緒に過ごしてきた場所です。現在までしっかりと守られてきた理由は若光の子孫たちが絶えず文化を残そうと努力してきたからです。このように日本でもしっかりと歴史を守ろうとしている姿を見て、私もしっかりと記憶し、たくさんの人に知ってほしいと思いました。
2024年6月26日（Naver Blog） 最近の日韓関係というテーマで日本の先生の講義を聞きました。韓国と日本がお互いについて知り、どこが異なるのか、似ている点はどこなのか、そして日韓の問題を解決するためには私たちがどのような姿勢で取り組めばいいのかを学び、感じる点がとても多かったです。あまり深く知らなかった日韓関係について知り、今後の日韓関係のために私が何をしなければいけないのか考えるようになりました。	2024年6月26日（Instagram） 高麗神社は高句麗使節団の一員である若光が高句麗の滅亡により帰るところがなくなってしまったため、高句麗人と一緒に過ごしてきた場所です。現在までしっかりと守られてきた理由は若光の子孫たちが絶えず文化を残そうと努力してきたからです。このように日本でもしっかりと歴史を守ろうとしている姿を見て、私もしっかりと記憶し、たくさんの人に知ってほしいと思いました。
 2024年7月9日、新大久保を訪れた。今回のプログラムで新大久保を訪れた一番の目的は故李秀賢さんの追悼碑を訪ねるためです。	 2024年6月29日（Instagram） 広島中心地にある原爆ドームと平和記念資料館を訪れた。資料館には原爆に関連する資料と投下時

李秀賢さんは2001年1月26日に新大久保で線路に落ちた乗客を助けるために線路に飛び降りて命を落とした義人です。 私もこの事故について知っていましたが、李秀賢さんの他に日本人の義人がもう1人いたことは知りませんでした。今回のプログラムを通じて追悼碑を訪れ、少しではありますがお二人の義人を称えることができました。	に受けた被害の規模と当時の住民の服など、さまざまな資料が詳細に記録されていた。その中でも原爆投下時に熱線で人の影だけが残った建物が展示されていて、とても衝撃で一番記憶に残った。資料館見学後、後ろにある公園に行くといめらめらと火が燃えていたが、これは核兵器がなくなるその日まで燃え続けるという。
--	---

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表（概要または抜粋を記載する）

 Action Plan 訪日成果 - 広島平和記念資料館の歴史を学ぶことができました。 - 原爆の被害の規模と当時の住民の服など、さまざまな資料が詳細に記録されていた。 - その中でも原爆投下時に熱線で人の影だけが残った建物が展示されていて、とても衝撃で一番記憶に残った。 - 資料館見学後、後ろにある公園に行くといめらめらと火が燃えていたが、これは核兵器がなくなるその日まで燃え続けるという。 アクション・プラン - 訪日経験の広報動画を作成し、コンテンツをアップロードする（YouTube、ブログ）。 - 大学訪問で出会った友人やホームステイ家族と連絡を取り続ける。 - 日本文化を深く理解するために、日本語の学習を続ける。 - 韓国で開催される様々な日本の文化イベントに参加する。 - 交流した日本人を韓国に招待し、韓国文化のイベントと一緒に参加する。	 방일 대학생단 액션플랜 방일 성과 - 일본의 역사와 문화를 깊이 이해할 수 있었습니다. - 특히, 원폭의 피해 규모와 당시 주민의 옷차림 등 다양한 자료가 상세히 기록되어 있어, 매우 충격적이며 기억에 남았습니다. - 자료관 관람 후, 뒷편에 있는 공원으로 갔는데, 그곳에서 불이 타오르는 모습을 보았는데, 이는 핵무기가 사라질 때까지 계속 타올라게 될 것이라고 합니다. 방일 계획 - 방일 경험을 홍보 영상을 제작하고, 콘텐츠를 업로드할 예정입니다 (YouTube, 블로그). - 대학 방문 시 만난 친구나 홈스테이 가족과 연락을 계속할 예정입니다. - 일본 문화를 깊이 이해하기 위해, 계속해서 일본어를 공부할 예정입니다. - 한국에서 열리는 다양한 일본의 문화 행사에 참여할 예정입니다. - 교류한 일본인을 한국에 초대하고, 한국 문화의 행사에 함께 참여할 예정입니다.
【成果の発表】 広島の被爆講話と広島平和記念資料館の訪問を通じて戦争というものが個人の人生をどれほどひどく破壊するものなのかわかった。また、高麗神社と御幸森天神宮、法隆寺の訪問を通じて、韓国と日本の交流は三国時代からずっと続いているということを深く感じた。現在、世界ではさまざまな戦争が起きているが、今後、日韓のコミュニケーションを通じて平和を築き、そこから一歩進んで世界平和にも貢献したいと思った。 【アクション・プラン】 ・プログラムを通じて学んだことを分析して SNS で共有する。 ・日韓関係に関連する記事を調べる。 ・ホームステイのホストと日本の友達に手紙を書く。 ・SNS を通じて日本人の友達に積極的に歩み寄る。 ・日本語会話を練習する。	【成果の発表】 日韓交流の重要性についても深く考えさせられた。歴史的にも文化的にも多くの交流があった日韓両国は時には葛藤や誤解で苦しむこともあったが、今回の訪日を通じて、両国の国民がお互いを理解し、尊重し、平和に向けて共に歩む可能性が見えてきた。お互いの文化を学び、歴史的な傷を癒し、共通の目標のために協力することこそ、真の平和を実現する道だと思う。 【アクション・プラン】 ・訪日経験の広報動画を作成し、コンテンツをアップロードする（YouTube、ブログ）。 ・大学訪問で出会った友人やホームステイ家族と連絡を取り続ける。 ・日本文化を深く理解するために、日本語の学習を続ける。 ・韓国で開催される様々な日本の文化イベントに参加する。 ・交流した日本人を韓国に招待し、韓国文化のイベントと一緒に参加する。

実施団体名：公益財団法人日韓文化交流基金